

地域と学校をつなぐかけはしコミュニティ・スクール 来てみて見に来て北小

二見北小学校 学校運営協議会

3月4日、令和元年度の第3回二見北小学校運営協議会を実施しました。おりしもコロナウイルスの感染の拡大に伴う予防処置として、前日の3日から15日まで学校は臨時休校中でした。そのためクールガード交流会や、感謝の集いが実施できませんでしたが、運営協議会は校長室において予定通り実施いたしました。(感謝の集いは24日の終業式の前に行います) 初めに今年度の学校の教育活動について校長が概要を説明しました。次に教頭から保護者や教職員の学校評価のまとめの資料を使って成果や課題を確認しました。それらを元にして、委員が来年度への課題や取り組みについて付箋に意見を記入する形で熟議を進めました。

➡以下抜粋して紹介します。

【確かな学力】について

- ・確かな学力を育てる取り組みとして、子どもたちに勉強の動機付けが必要。「何のために勉強するの！」
- ・学校で学習に向かう姿勢に個人差が大きい。家庭と学校が連携して学習習慣を育む。

【共に生きる心】

- ・登下校時上級生が下級生の面倒を見ている。あいさつができていく。クラス・授業に活気がある。
- ・子どもカフェに出て来られていない子が心配
- ・花壇や畑など、子どもたちが共同作業でものづくりをして心を耕す。

【家庭地域との連携・開かれた学校づくり】

- ・PTA・学校・地域の人々が困っていることを出し合い、それぞれの立場で応援する雰囲気を作ること。まち協でカフェなどいろんな世代が交流する場を計画していく。
- ・学習園などの畑づくりを地域のボランティアに協力を願う前に、学校がまずできることをしっかりやっていくことが大切。自分で植えて育てて、食べて。
- ・朝の遅刻や欠席の未連絡が多くなっている。子どもの安全上においても家庭の協力が必要。

【安全な環境づくり】

- ・安全な地域ではあるが車が増えている。スクールガードの協力者をもっと増やすことが必要。PTA、保護者も協力しやすい形で、ながら見守り等の協力をしていただきたい。
- ・スクールガードをするという意識が、気持ちの張りや自分の健康維持につながっている。

【生活指導】

- ・子どものしつけに困っている家庭もある。親のしんどさも理解し、学校と家庭でできることを連携して進めていく。親がどのように子どもに向き合うか、学習や生活習慣について、学校から「こんなことから始めた」「こういう教え方がある」など、少しずつ家庭を支えていく。

今年度も地域や保護者の皆様にご協力いただきました。ありがとうございます。見えてきた課題や積み上げた成果をもとにして、来年度も丁寧な情報発信や学校行事のオープン化を進めて、地域との連携を深めながら、開かれた学校を目指してまいります。二見のまちを愛する北っ子を育むために、二見北小コミュニティ・スクールの取り組みにご協力ください。新型コロナウイルスはまだまだ終息の気配がありません。まちぐるみで感染防止に取り組みましょう。

